



鈴鹿地区交通安全だより

～2023.No.20～

※ 三重県交通安全協会ホームページから過去発行のものが閲覧できます。

令和 5年 11月 1日
鈴鹿地区交通安全協会
電話・FAX 059-388-1241
suzukaankyo@jeans.ocn.ne.jp

1 速報！令和5年10月末現在交通事故発生状況(暫定値)等

～「死亡事故発生」10月28日(土)朝、十宮一丁目市道交差点で、軽四車とバイク(Sカブ)が衝突。バイク運転の80歳代高齢女性が死亡!! **本年の交通事故死者数が5名に!**～

〈1. 三重県内〉

(暫定値)

	総事故件数	人身事故					物件事故件数
		件数	死者数	負傷者数			
				重傷者	軽傷者		
本年	45,184	2,448	50	3,117	453	2,664	42,736
前年	42,741	2,397	48	2,995	390	2,605	40,344
増減数	2,443	51	2	122	63	59	2,392
増減率	5.7%	2.1%	4.2%	4.1%	16.2%	2.3%	5.9%

〈2. 鈴鹿警察署管内〉

(暫定値)

	総事故件数	人身事故					物件事故件数
		件数	死者数	負傷者数			
				重傷者	軽傷者		
本年	4,721	246	5	307	50	257	4,475
前年	4,550	232	9	288	39	249	4,318
増減数	171	14	-4	19	11	8	157
増減率	3.76%	6.0%	-44.4%	6.6%	28.2%	3.2%	3.6%

* 各表の数値は「暫定値」です。数値の取扱いに注意願います。

※ 日々の県内発生状況及び市町別死者数は県警HPI「交通日報」にタイムリーにアップされています。

2 「夕暮れ時、ちょっと早めの「ライト★オン」運動」にかかる広報・啓発の実施

10月28日(土)、「イオンモール鈴鹿周年祭」にて、警察と合同で「交通安全教室」(白バイ撮影会、こども免許作成)を開催。啓発物を利用して「ライト★オン」運動の広報を実施しました。



3 県事務局からのアドバイス～車を運転中、もしも大きな地震が発生したら…

(1) 道路の左側に車を停止させましょう

急ブレーキを避け、ゆっくりとスピードを落としましょう。

できるだけ安全な方法で道路の左側に車を寄せ、停止させましょう。



(2) 安全のため揺れがおさまるまで車内で待機しましょう

慌てて車外に飛び出すと後続車との接触や地震での落下物など危険な場合があります。まずは揺れがおさまるまで車外に出ず、そのまま車内で待機しましょう。

その間にラジオやテレビ、スマートフォン等で情報を収集する方法もあります。



(3) 路上に駐車する場合はキーを置いて避難しましょう

できるだけ道路外の場所に移動しておくことが理想です。

緊急車両等の通行の妨げになった場合、速やかな移動が必要であり、

ドアはロックせずにキーは車内の目立つ場所において避難しましょう。





鈴鹿地区交通安全だより

～2023,号外～

※ 三重県交通安全協会ホームページから過去発行のものが閲覧できます。

令和 5年 11月 1日
鈴鹿地区交通安全協会
電話・FAX 059-388-1241
suzukaankyo@jeans.ocn.ne.jp

特集：“横断歩道は歩行者優先”/「まもってくれてありがとう運動」の推進について

「まもってくれてありがとう運動」とは、

児童等が横断歩道を横断する際や横断後に、停止してくれた運転者に対して頭を下げたり、「ありがとう」と言ったり、会釈したりしてお礼の気持ちを表し、横断歩道が人優先であることを学び、横断歩道でのルールとマナーについて自然に理解できる取組のこと

で、運転者にも「止まらなければ」という気持ち（歩行者保護の気持ち）を起こさせ、安全運転意識の高揚と、交通事故の減少を図ることを目的とした運動です。

1 「まもってくれてありがとう運動」推進モデル校の指定

当協会では、市や警察と連携して交通安全運動期間中に市内小学校を推進モデル校に指定し、通学路の安全指導や横断旗を贈呈する等して、地域・学校における交通安全意識の普及に努めています。



指定年度・数	指定小学校名
R5年度	稲生、庄野、牧田
R4年度	4 桜島、郡山、清和、国府
R3年度	5 井田川、若松、深伊沢、栄、白子
R2年度	4 河曲、飯野、天名、鈴西

2 スーパー等大型商業施設店内放送による広報活動の実施

令和3年6月以降、市内大型商業施設9店にご協力いただき、毎月11日の「横断歩道SOSの日」に、“ハンドサイン”“ACTION38”キャンペーンとあわせ、下記内容の広報を行っています。

◎ 鈴鹿地区交通安全協会、鈴鹿市、鈴鹿警察署からのお知らせです。

「横断歩行者等優先意識」の向上を目指す「ACTION38キャンペーン」はご存じですか？
道路交通法第38条には、信号機がない横断歩道では歩行者優先等と規定されています。

この38条にちなみ、ドライバーに対し、次の4つの行動：ACTIONを求めています。

○ ドライバーの皆さんへ

- 1 横断歩道近くでは停止できる速度に減速しましょう
- 2 歩行者がいる場合は必ず一時停止しましょう
- 3 停止車両がいる場合は、必ず一時停止しましょう
- 4 横断歩道手前での追い越し・追い抜きは禁止です！ やめましょう！

○ そして歩行者の皆さんには、「ハンド・サイン」キャンペーン、「まもってくれてありがとう運動」の推進をお願いします。

- ・ 横断するときは、少し手を上げる「ハンド・サイン」で渡る意思をはっきり伝えましょう
- ・ 止まってくれたドライバーに会釈などして、感謝の気持ちを表しましょう

※ **ドライバーも歩行者も、お互いが、安全で気持ちよく通行するよう心掛けましょう。**



店内放送協力店様	1	鈴鹿ハンター
2 イオンモール鈴鹿	3	オークワ鈴鹿高岡店
4 F☆マート鈴鹿インター店	5	ホームセンターバロー鈴鹿店
6 スーパーマーケットバロー鈴鹿店	7	ザ・ビックエクストラ鈴鹿玉垣店
8 マックスバリュ鈴鹿店	9	MEGAドン・キホーテUNY鈴鹿店

※ 四季の交通安全運動期間中の広報にもご協力いただいています。

3 車両の停止率・全国順位の推移

～JAF調査、令和5年は停止率が前年より微増、5割を超えましたが、全国順位は19位のまま！～

令和元年、三重県が停車率3.4%・全国ワースト(最下位)となった「JAFの信号機のない横断歩道における車の停止率の全国調査」で、令和2年は27.1%・全国14位、令和3年は47%・7位と大きく躍進してきましたが、令和4年は49.6%・19位、令和5年は51.3%・19位と停車率が微増にとどまり、全国での順位が昨年と同じく19位と停滞しました。

【参考】 全国平均 45.1%(前年比+5.3P)

1位 長野県 84.4%	44位 大阪・福井 26.7%
2位 石川県 76.4%	46位 佐賀県 26.2%
3位 栃木県 74.8%	47位 新潟県 23.2%



(一財)三重県交通安全協会：<http://www.mie-ankyo.com>
三重県警察：<http://www.police.pref.mie.jp>

